

## 全体交流 ( A ) グループ

		課題・悩み	改善案・主な取組
運営のため	計画 活動 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人材不足。</li> <li>○運営スタッフの育成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校や公民館を出入りする中で「この人にはお願いできそうだ」という人に声をかけてみる。</li> </ul>
子供のため	仲間づくり 接し方 連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○料理教室を行いたいが問題・課題が多い。(食物アレルギーの問題)</li> <li>○子供たちに注意をしてもきかない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ルールを決める。</li> </ul>

## 全体交流 ( B ) グループ

		課題・悩み	改善案・主な取組
運営のため に	計画 活動 振り返り	○活動計画の作成。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①アンケートをとる。(保護者と子ども)</li> <li>②子供の希望を聞く。 →可能なものを取り入れる。</li> <li>③地域の方を巻き込む。</li> <li>④他の教室との交流。</li> <li>⑤わくわく学び隊の活用。</li> </ul>
子供のため に	仲間への 接し方 連携	○縦割り活動が困難。(自己主張が強い子供)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①席順を工夫する。 ・くじで決める。</li> <li>②高学年の子供に役割を与える。</li> <li>③班長を決める。</li> <li>④ルールを子供たちに作らせる。</li> </ul>

## 全体交流（C）グループ

		課題・悩み	改善案・主な取組
運営のため	計画 活動 振り返り	<p>○活動メニューがマンネリ化している。</p>	<p>○地域の人材を活かす。 →サポーター育成につながる。</p> <p>○他の地域との情報交換。</p>
子供のため	仲間への 接し方 連携	<p>○子供への接し方。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・叱り方（指導，教育の仕方）</li> <li>・支援がいる子</li> </ul>	<p>○学校との連携。</p> <p>○専門家の話を聞く。</p> <p>○ルールを決める。</p>

## 全体交流（D）グループ

		課題・悩み	改善案・主な取組
運営のため	計画 活動 振り返り	○ボランティアさんの資質の差が大きい。	○年度初めにボランティアとしての子供への接し方について話をしているが、学期毎にもっと実態に応じた話の時間をもつ。
子供のため	仲間への 接し方 連携	○学校での様子と放課後子供教室では子供の様子が違う。学校との連携をどうとっていくか。	○年度初めに放課後子供教室に入る児童を学校に知らせ、その後の学校との連携の糸口にする。 ○学期毎に運営委員会（市・スタッフ・学校）を開き状況を連絡する。

## 全体交流（E）グループ

		課題・悩み	改善案・主な取組
運営のため	計画 活動 振り返り	○活動内容の工夫。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな体験をさせる事を目的として内容を考える。</li> <li>○お茶教室を年間通して行う。</li> <li>○ボランティアさんの得意な事をする。</li> </ul>
子供のため	仲間への 接し方 連携	○子供への対応について。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○落ち着きがない子等は、まずはハグをして落ち着かせる。</li> <li>○先生方と連携をする。（けんかがおきた時等）</li> <li>○できている事をほめる。</li> </ul>